

2021年1月21日

ソニー生命保険株式会社

「スペシャルオリンピックス日本」へ協賛金贈呈**～大会ごとに広がる支援の輪～**

ソニー生命保険株式会社（社長 萩本 友男）は、ひとりでも多くの知的障がいのある方々の自立と社会参加をサポートし、多様性を認め合う優しい社会の形成に寄与していきたいという思いのもと、「スペシャルオリンピックス日本」へ協賛金の贈呈を行いました。

活動の趣旨

当社では、多くの社員がボランティア活動の価値を見出して社会貢献活動を行っています。そのひとつとして、ひとりでも多くの知的障がいのある方々の自立と社会参加をサポートし、多様性を認め合う優しい社会の形成に寄与していきたいという思いのもと、「スペシャルオリンピックス日本」を支援しています。

2020年度は、500万円の協賛金を贈呈しました。また、夏冬それぞれ4年毎に開催される「スペシャルオリンピックス日本・ナショナルゲーム（全国大会）」では、毎回多数の社員がボランティアスタッフとして参加しており、その規模は参加企業の中でも最大級となります。直近では、2018年に開催された「2018年 第7回スペシャルオリンピックス日本夏季ナショナルゲーム・愛知」において、延べ約600名の社員がボランティアスタッフとして参加しました。

こうした大会への参加以外にも、チャリティーイベント開催時の支援など、社員自らできることを見つけ、積極的に活動を支援しています。

～ 公益財団法人 スペシャルオリンピックス日本 (<https://www.son.or.jp/>) ～

「スペシャルオリンピックス」とは、知的障がいのある方々に年間を通じて日常的なスポーツトレーニングと、その成果の発表の場である競技会を提供し、社会参加を応援する国際的なスポーツ組織です。日本においては「公益財団法人スペシャルオリンピックス日本」が国内本部組織としてその活動を行っています。



© Special Olympics Nippon



© Special Olympics Nippon

以上